

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ともだちの家スピカ		
○保護者評価実施期間	2026年1月13日		～ 2026年2月6日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	2026年1月13日		～ 2026年2月6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2026年4月30日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者の方に恵まれ、良い関係を築くことができている	日々のコミュニケーションを大事にしている。また、職員間の情報共有もスムーズにできる環境もある。	保護者の方の思いに寄り添えるよう、日々の会話や連絡帳、モニタリングなどを通して吸い上げていく。
2	小集団の活動も個別の活動も行えている	保育園・幼稚園に通っていない子にとって、小集団で過ごすことは刺激となり、逆に普段園や学校にいる子にとっては、より人数の少ない小集団のなかで生活習慣やコミュニケーションを学んでいく機会となるため、小集団での活動も個別の課題の時間も大事にしている。	個別活動ができる職員を育てていき、時間改革をしていきたい。
3	法人内に保育施設があるため、連携がとりやすい 園庭を借りて遊ぶことができる	保育園との連携会議や主任園長会への定期的な参加をして情報を共有できている。	引き続き園と連携すると共に、園行事や地域の行事などに参加できる機会を設けていきたい。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等	子どもの支援の記録や送迎に時間を取られてしまっている。	必要に感じない方もいらしゃるため、希望性など工夫しながら年間計画に入れ込む。
2	リハビリ職の不足	ST・PT・OTなどのリハビリ職を募集しているがなかなか採用が難しい。	採用強化するとともに、センターや相談支援員と情報を共有しながら、専門的な支援が必要なお子さんに関しての支援の助言を積極的に仰いでいき、質の向上に努めたい。
3	学校や学童との連携	学校側からの必要性を感じてもらえない。	話し合いの要望をいただいている学校とは会議が持てているため、引き続き行っていくとともに他の学校や学童とも連携できる機会を探っていく。また、市や区で行っている協議会などに参加していくことで情報を収集していく。